

福岡県福岡市

自社特許技術で循環型社会の実現を推進 海外進出し現地産業の環境負荷低減へ貢献

2000年にプラントエンジニアリング業として設立され、主として廃棄物分野に係る技術パテントを数多く保有。自社特許技術である「油温減圧式乾燥技術」を通じ、社会に貢献したいという思いで、廃棄物処理関連の企業と連携しビジネスを展開。出願及び申請中の技術も含め、本技術を核に、今後拡大が期待される環境関連投資に対応すべく、顧客ニーズへの適応力強化、多岐にわたる技術適応領域への確実な浸透を目指した事業展開を推進中。

●所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前3-19-14 ビーエスビル博多6F
●電話/FAX	092-409-5850/092-409-5851
●URL	http://www.eco-stage.com/
●代表者	代表取締役 中園 英司

●設立	2000年
●資本金	2,000万円
●従業員数	4人



特許技術による有機性廃棄物の資源化で循環型社会を推進

「油温減圧式乾燥技術」という特許技術で高含水率の有機性廃棄物を圧倒的な乾燥率で、大型設備で10t/90分程度の乾燥時間でほぼ絶乾まで乾燥させ、乾燥済有機性廃棄物の全量有価物への転換と市場流通を実現。環境省ホームページで飼料化技術として紹介され、畜産廃棄物、食品廃棄物の製品(飼料)化や下水汚泥の燃料化等の分野で多数の実績を持ち、資源化製品の有効性・機能性を高める技術の提供を通じて顧客の信頼を獲得している。九州大学の文部科学省委託事業にも参画し循環型社会モデルの構築に貢献。



油温減圧式乾燥機（クッカー）

アフリカ進出でオリーブオイル産業の環境負荷低減に貢献

2017年から、JICA「中小企業・SDGsビジネス支援事業」を活用しモロッコにおけるビジネス化に向け準備を進めている。オリーブオイル産業の搾油過程で発生する果汁廃液や搾油粕による環境汚染が問題になっているなか、搾油粕を即日処理のうえ乾燥製品を資源化し、また搾油粕からの二番絞り油の抽出で付加価値の最大化を図り、環境負荷の低減と産業の付加価値向上を両立させるビジネスモデルを実証中。オリーブの世界最大市場であるスペインやイタリア等への展開も経営戦略の一つとして掲げている。



モロッコにて搾油粕資源化の実証

円滑な事業継承、多様な人材活用を推進

円滑な事業継承を見据え、後継者がJICAで実施中の調査でモロッコに渡航し、協力企業との合弁で現地工場を設立するためのパートナー選定等、中核的な役割を担い、海外展開の土壌づくりに取組んでいる。また、本プロジェクトのパートナー企業がモロッコと日本のハーフの人材を雇用することで言語の壁を克服し、ターゲット国言語(アラビア語、フランス語)で専門的な技術面での説明が可能となり、迅速な意思決定ができる体制を構築している。



グローバルチームでプロジェクトを推進